



## 長尾文庫に見る 老舗の引き札

2019 年度前期の REC 講座の図書館提携講座「京都から見た 日本の老舗、世界の老舗」の開講に合わせて、本ミニ展覧を企画しました。

今回は特に、有名な老舗の引き札を出陳しています。皆様お馴染みのお店の引き札も見つけることが出来るかもしれません。

### <長尾文庫>

株式会社大長水産代表取締役・長尾隆次氏が、1950（昭和 25）年～1983（昭和 58）年にかけての約 30 年間にかけて個人的に収集されていたもので、1983（昭和 58）年に龍谷大学が購入し、深草図書館で収蔵するに至っている。

その内容は社史を中心に団体史・産業史・人物史・定款・営業報告書・広告資料・引札・チラシ等の日本最大の総合コレクションといえ、質・量ともに全国有数のものとの評価が与えられている。特に現存する社史（幕末以降）の約 70%が収蔵されており、近代の経営史における資料的価値はことのほか高い。2015（平成 27）年度末現在の収蔵冊数は、18,000 点を超えている。

### <引札>

引札（ひきふだ）は江戸中期から明治末頃にかけての広告媒体のひとつで、主として、都市部の商店などが宣伝広告のために配布した、一枚摺りの印刷物をさす。

その歴史は江戸時代に始まり、よく引用される、加藤曳尾庵『我衣』<1852（文政 8）年>や平沢平格『後はむかし物語』<1803 年（享和 3）>などによると「札、目録札、口上出し札、書附、口上書」などと記されているのが、引札に該当するようで、名称も一定していない。江戸時代の天和年間（1681～1684）には既に存在していることが、1683（天和 3）年、日本橋駿河町に越後屋が開店した時に出した引札のあることでわかる。（増田太次郎『引札絵びら錦絵広告』）。さらに商品経済の発達、貨幣社会への移行、庶民層の成長などにより、東都（えど）においても都市特有の様々な生活文化が開花する。この時期 18 世紀中期以降、日本美術史上の画期である 1765（明和 2）年の錦絵発明に代表するごとく、印刷出版情報活動もより高まりをみせた。

この動きは商業活動下でも例外ではなく、従来の商店における看板、暖簾といった静的広告から、より積極的な潜在購買欲の喚起と再生産を計る、書籍・引札チラシなどの活用、流動性ある広告媒体の発達を促した。

江戸後期には今日存在する大量伝達手段たる新聞、テレビこそ無いもののその萌芽となる広告媒体の諸相は、ほぼ出揃うとみられる。

続く明治時代の広告活動を概観するには、新たな情報伝達手段である、新聞・雑誌の急速な発達と、それに付随する広告広報の目的意識の明確化の進展を忘れてはならない。

さて、「引札」は明治初期には商業的目的の宣伝広告のことを全般的に指したらしく、新聞の広告欄や広告掲載料金のことを「引札」・「引札直段附」としているのでもわかる。(山本武利『広告の社会史』)。漸次、使いわけがはじまり、一枚摺りの広告印刷物を「引札」と称するようになった。その配布対象者・配布時期・配布方法・形状により、さきの増田太次郎は“散らす広告の系譜”として大きく次の8つに分けている。1引札、2ビラ、3摺物、4錦絵広告、5正月用引札、6一枚ゴヨミ(暦)、7広告うちわ、8広告マッチとし、そのうち1引札は今日のチラシ広告(折込広告)に連続するものとしている。2ビラ(絵ビラ・辻ビラ)は現在のポスターに連なるものとしている。

引札の画題としては、江戸期に培われた浮世絵技術の伝統を受け継いで、当時の世相・風俗が好んで描かれた。また印刷技術も木版から銅版そして石版へと進展し、明治30年代には、石版印刷が主流となった。

幕末・明治の引札をみていくと、手技から近代機械化工業への移行=近代日本印刷史の縮図を眼前にする感がある。読ませる広告(文字情報)と見せる広告(図像情報)という二つの大きな情報の結合と文化の流れ=広告技術の歴史を知ることができる。このように引札から庶民の生活意欲と欲望の軌跡が窺え、生活意識の実態を探る好資料といえよう。

## <出陳引札>

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| 1)「浅田飴等東京薬屋の連合広告」             | <長尾番号：3816> |
| 2)「大丸屋呉服店繁栄図」                 | <長尾番号：3840> |
| 3)「福助 塚足袋」                    | <長尾番号：3866> |
| 4)「灘酒造 惣花」                    | <長尾番号：3894> |
| 5)「山本山 お茶」                    | <長尾番号：3914> |
| 6)「東京自慢名物会」より<br>「酒悦」、「三井呉服店」 | <長尾番号：3918> |
| 7)「御まんぢう餅屋」                   | <長尾番号：3932> |
| 8)「中将湯 津村順天堂」                 | <長尾番号：6218> |
| 9)「アサヒビール会社」                  | <長尾番号：7768> |

以上